

会計区分	01	一般会計		令和 5 年 度 事 務 事 業 調 書							事業主体	11010000	企画課 企画係		
大事業 C D	01	(目標)		—				中事業 C D	14	(施策)		—			
		(政策)		—						(主要な取り組み)		—			
小事業 C D	01	消費者行政事業					事業年度	R03 ～ R12	成果目標	☐ 成果目標がある		成果指標	—		
款項目	02	総務費	01	総務管理費	01	一般管理費	小事業区分	新規・継続		☒ 成果目標がない		目標値	—	目標年度	—

(単位：千円)

	R 0 5 年度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等	前年度(04 年度) 当初予算額	03年度 決算額
○ 経 費 計	1,112	美濃加茂市、坂祝町、富加町、川辺町で消費者窓口（美濃加茂市役所内に設置）の相談員経費を按分して負担する。	1,139	1,084
1 報酬				
2 ～4給料手当等				
5 災害補償費				
7 報償費				
8 旅費				
9 交際費				
10 需用費				
1 消耗品費				
2 燃料費				
3 食糧費				
4 印刷製本費				
5 光熱水費				
6 修繕料				
その他				
11 役務費				
12 委託料				
13 使賃料				
14 工事請負費				
15 原材料費				
16 公財購				
17 備品購入費				
18 負補交	1,112		1,139	1,084
19 扶助費				
20 貸付金				
21 補てん賠				
22 償利割				
23 投資出資金				
24 積立金				
25 寄附金				
26 公課費				
27 繰出金				

○ 財 源 計	1,112	基準額・補助率・歳入科目コード等	1,139	
1 国庫支出金				
2 県支出金	90		99	
3 町債				
4 その他特財				
5 一般財源	1,022		1,040	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）			
【★7次総 4404】（防犯・交通安全）「消費者相談の受入体制の整備」			
近年、消費者被害が目立ってきており被害内容も多様化している中、消費者への情報提供の充実や消費者相談体制の整備を行うことで、消費生活トラブルから消費者の保護に努める。			
事業の概要			
定住自立圏構想の一環として、美濃加茂市と坂祝町、富加町、川辺町の合同で広域消費生活相談窓口を設置する。 また、未然に被害を防ぐため情報提供を積極的に活用する。 （平成24年1月に美濃加茂市と坂祝町、富加町、川辺町の合同で、美濃加茂市の相談室を広域消費生活相談窓口として開設した。）			
事業の実績			
美濃加茂市の相談員と市町の担当者との情報共有会議を定期的に行っている。 R03年度 町民からの相談件数 27件／266件（匿名含む） R02年度 町民からの相談件数 13件／253件（匿名含む）			
事業の成果指標		事業の目標値	
		単位	
		R05 年度末	
		R06 年度末	
		R07 年度末	
R05 年度の到達目標（課題・改善策等）			
広域消費生活相談窓口の周知及び消費者被害防止啓発活動の実施			

事務事業評価の結果（1 次）	—	R05 年度の計画額	1,112	千円
事務事業評価の結果（2 次）	—	R05 年度の上限額	1,112	千円
<特記事項>				

【評価】 A 拡充・重点化 B 計画の承認 C 見直し・縮小 D 整理・統合 E 休止・廃止 — 評価なし

会計区分	01	一般会計		令和 5 年 度 事 務 事 業 調 書							事業主体	11010000	企画課 企画係		
大事業 C D	03	(目標)	-					中事業 C D	15	(施策)	-				
		(政策)								(主要な取り組み)					
小事業 C D	01	公共交通事業				事業年度	R03 ~ R12		成果目標	■ 成果目標がある	成果指標	バスの利用者数(人)			
款項目	02	総務費	01	総務管理費	08	企画費	小事業区分	新規・継続		□ 成果目標がない	目標値	22, 000		目標年度	令和12年度

(単位：千円)

	R O 5 年度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等	前年度(04 年度) 当初予算額	03年度 決算額
○ 経 費 計	12, 827	燃料費において、中部国際医療センターへのルート変更に伴い走行距離が延長したこと及び、原油高騰により増額となりました。	9, 407	9, 706
1 報酬	28		28	8
2 〜4給料手当等				
5 災害補償費				
7 報償費		また、ルート変更に伴い、運転手の勤務時間に時間外が発生することとなり、委託契約を増額となる変更契約締結により、委託料が増額となりました。		
8 旅費	14		14	
9 交際費				
10 需用費	1, 969		1, 170	1, 312
1 消耗品費	346	ほぎもんバスの車両管理を総務課から事務移管されたため、リース料や消耗品代が増加。		
2 燃料費	1, 523		1, 170	1, 303
3 食糧費				
4 印刷製本費				9
5 光熱水費				
6 修繕料	100			
その他				
11 役務費				
12 委託料	8, 784		8, 195	8, 386
13 使賃料	2, 032			
14 工事請負費				
15 原材料費				
16 公財購				
17 備品購入費				
18 負補交				
19 扶助費				
20 貸付金				
21 補てん賠				
22 償利割				
23 投資出資金				
24 積立金				
25 寄附金				
26 公課費				
27 繰出金				

○ 財 源 計	12, 827	基準額・補助率・歳入科目コード等	9, 407	
1 国庫支出金				
2 県支出金				
3 町債				
4 その他特財	1		1	
5 一般財源	12, 826		9, 406	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）	
【★ 7 次総 5104】（道路・公共交通）「効率的な公共交通の実施」	
さまざまな年代やライフスタイルに応じた、誰もが利用しやすいバス運行を実施する。町の公共交通について検討する。	
事業の概要	
地域における需要に応じた住民の生活に必要なバス等の旅客運輸の確保その他旅客の利便の増進を図り、地域の実情に即した輸送サービスの実現に向けて必要となる事項を協議する	
ほぎもんバス・美濃加茂方面行きバスを 2 ルートで運行。 令和 5 年度からバスの管理を総務課から企画課へ事務移管。	
事業の実績	
R3：公共交通会議 1 回開催	
3年度実績 コミュニティバス利用人数 10, 970人 2年度実績 コミュニティバス利用人数 11, 208人 1年度実績 コミュニティバス利用人数 20, 417人	
事業の成果指標	
コミュニティバスの延べ利用人数	事業の目標値
	単位 人／年度
	R05 年度末 20, 000
	R06 年度末 20, 000
R07 年度末 20, 000	
R05 年度の到達目標(課題・改善策等)	

事務事業評価の結果(1 次)	—	R05 年度の計画額	12, 827	千円
事務事業評価の結果(2 次)	—	R05 年度の上限額	12, 827	千円
<特記事項>				

【評価】 A 拡充・重点化 B 計画の承認 C 見直し・縮小 D 整理・統合 E 休止・廃止 ー 評価なし

会計区分	01	一般会計	令和 5 年度 事務事業調書						事業主体	11010000	企画課 企画係				
大事業 C D	31	(目標)	—						中事業 C D	02	(施策)	—			
		(政策)	—								(主要な取り組み)	—			
小事業 C D	01	商工会育成事業					事業年度	R03 ~ R12		成果目標	☐ 成果目標がある	成果指標	—		
款項目	06	商工費	01	商工費	02	商工観光振興費	小事業区分	新規・継続			☒ 成果目標がない	目標値	—	目標年度	—

(単位：千円)

	R O 5 年度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等	前年度(04 年度) 当初予算額	03年度 決算額	
○ 経 費 計	4,000	坂祝町商工会へ補助金を交付する 4,000,000円	4,000	4,000	
1 報酬					
2 〜4給料手当等					
5 災害補償費					
7 報償費					
8 旅費					
9 交際費					
10 需用費					
1 消耗品費					
2 燃料費					
3 食糧費					
4 印刷製本費					
5 光熱水費					
6 修繕料					
その他					
11 役務費					
12 委託料					
13 使賃料					
14 工事請負費					
15 原材料費					
16 公財購					
17 備品購入費					
18 負補交	4,000			4,000	4,000
19 扶助費					
20 貸付金					
21 補てん賠					
22 償利割					
23 投資出資金					
24 積立金					
25 寄附金					
26 公課費					
27 繰出金					

○ 財 源 計	4,000	基準額・補助率・歳入科目コード等	4,000	
1 国庫支出金				
2 県支出金	37	商工会の設立許可等事務交付金	52	
3 町債				
4 その他特財				
5 一般財源	3,963		3,948	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）			
【★ 7 次総 3202】（商工業）「商工会のネットワークの形成支援」			
商業では近隣の大規模ショッピングセンターなどに買い物客が流れており、町内の小規模な商店などでは事業の継続が難しくなっている。 産業はまちの活力の源ともいえる重要な役割を果たしており、町内に立地する既存の企業の安定的な経営を支援する必要がある。さらに、近年では雇用環境も悪化していることから、若年者や高齢者、障がい者、女性など、多様な人材の就労へ向けた支援を行う必要がある。			
事業の概要			
商工会育成補助金を継続して実施し、商工会の活動を支援することで商工業の育成と連携の強化を促進する。			
事業の実績			
03年度末 商工会会員数 161件 02年度末 商工会会員数 164件 元年度末 商工会会員数 143件 30年度末 商工会会員数 140件 29年度末 商工会会員数 147件			
事業の成果指標		事業の目標値	
		単位	
		R05 年度末	
		R06 年度末	
		R07 年度末	
R05 年度の到達目標（課題・改善策等）			

事務事業評価の結果（1 次）	—	R05 年度の計画額	4,000	千円
事務事業評価の結果（2 次）	—	R05 年度の上限額	4,000	千円
<特記事項>				

【評価】 A 拡充・重点化 B 計画の承認 C 見直し・縮小 D 整理・統合 E 休止・廃止 — 評価なし

会計区分	01	一般会計	令和 5 年 度 事 務 事 業 調 書						事業主体	11010000	企画課 企画係			
大事業 C D	32	(目標)	—					中事業 C D	01	(施策)	—			
		(政策)	—							(主要な取り組み)	—			
小事業 C D	01	観光PR事業				事業年度	R03 ～ R12	成果目標	☐ 成果目標がある	成果指標	—			
款項目	06	商工費	01	商工費	02	商工観光振興費	小事業区分		新規・継続	☒ 成果目標がない	目標値	—	目標年度	—

(単位：千円)											
	R 0 5 年度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等					前年度(04 年度) 当初予算額	03年度 決算額			
○ 経 費 計	200	観光PR用の消耗品の購入					247	383			
1 報酬		マスコットキャラクター着ぐるみの管理									
2 ～4給料手当等		修繕、クリーニング等									
5 災害補償費		駅前観光案内看板用の借地料 20,000円／年									
7 報償費											
8 旅費											
9 交際費											
10 需用費	122						181	362			
1 消耗品費	112						171	20			
2 燃料費											
3 食糧費											
4 印刷製本費								260			
5 光熱水費											
6 修繕料	10						10	82			
その他											
11 役務費	58						46	1			
12 委託料											
13 使賃料	20						20	20			
14 工事請負費											
15 原材料費											
16 公財購											
17 備品購入費											
18 負補交											
19 扶助費											
20 貸付金											
21 補てん賠											
22 償利割											
23 投資出資金											
24 積立金											
25 寄附金											
26 公課費											
27 繰出金											

○ 財 源 計	200	基準額・補助率・歳入科目コード等					247	
1 国庫支出金								
2 県支出金								
3 町債								
4 その他特財								
5 一般財源	200						247	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）									
【★7次総 3301】（観光）「観光情報の発信」									
各種広報媒体を活用し、町の観光資源に関する情報発信を行うことにより、坂祝町を広くアピールし来訪者数の増加による地域の活性化を図る。									
事業の概要									
イベント等において観光パンフレットの配布を行い、町の観光資源に関する情報発信を行う。									
事業の実績									
令和4年度	パンフレット	配布部数	2,000部	／	目標指数	1,400部	(見込み)		
令和3年度	パンフレット	配布部数	6,710部	／	目標指数	1,400部			
令和2年度	パンフレット	配布部数	1,300部	／	目標指標	1,400部			
令和元年度	パンフレット	配布部数	1,300部	／	目標指標	1,400部			
平成30年度	パンフレット	配布部数	1,300部	／	目標指標	1,400部	(リニューアル後)		
平成29年度	パンフレット	配布部数	1,000部	／	目標指標	1,400部			
平成28年度	パンフレット	配布部数	1,300部	／	目標指標	1,400部			
平成26年度	パンフレット	配布部数	1,300部	／	目標指標	1,400部			
事業の成果指標					事業の目標値				
					単位				
					R05 年度末				
					R06 年度末				
					R07 年度末				
R05年度の到達目標(課題・改善策等)									

事務事業評価の結果(1 次)	—	R05 年度の計画額	200	千円
事務事業評価の結果(2 次)	—	R05 年度の上限額	200	千円
<特記事項>				

【評価】 A 拡充・重点化 B 計画の承認 C 見直し・縮小 D 整理・統合 E 休止・廃止 — 評価なし

会計区分	01	一般会計		令和 5 年 度 事 務 事 業 調 書							事業主体	11010000	企画課 企画係			
大事業 C D	32	(目標)		-				中事業 C D	01	(施策)		-				
		(政策)								(主要な取り組み)						
小事業 C D	02	移住定住事業				事業年度	R03 ~ R12		成果目標	■ 成果目標がある		成果指標	空き家を活用した事業主等の誘致件数			
款項目	02	総務費	01	総務管理費	08	企画費	小事業区分	新規・継続		□ 成果目標がない		目標値	2	目標年度	令和12年度	

(単位：千円)

	R O 5 年度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等	前年度(04 年度) 当初予算額	03年度 決算額
○ 経 費 計	1,000	東京圏からの移住支援事業費補助金	2,800	0
1 報酬		空き家改修支援補助金		
2 〜4給料手当等		清流の国ぎふ移住支援補助金		
5 災害補償費				
7 報償費		3補助金ともに申請時（年度当初）補正等で予算確保を確約すれば、補正対応で良いとの返答が県からあり。実績が少ないため、補正対応事業とする。		
8 旅費				
9 交際費				
10 需用費				
1 消耗品費		清流の国ぎふ移住支援補助金は、5 年度に1 件出そうな相談がありましたので、予算計上します。		
2 燃料費				
3 食糧費				
4 印刷製本費				
5 光熱水費		県が行う清流の国ぎふ移住支援補助金を県内市町村が実施し/2を県が持つようになる予定。		
6 修繕料		・ 5 年以上県外に在住。		
その他		・ 申請の日から5 年以上継続して県内に居住する意思があること		
11 役務費				
12 委託料				
13 使賃料		・ 転勤、出向、出張、研修等による勤務地の変更でないこと		
14 工事請負費		など		
15 原材料費				
16 公財購				
17 備品購入費				
18 負補交	1,000		2,800	
19 扶助費				
20 貸付金				
21 補てん賠				
22 償利割				
23 投資出資金				
24 積立金				
25 寄附金				
26 公課費				
27 繰出金				

○ 財 源 計	1,000	基準額・補助率・歳入科目コード等	2,800	
1 国庫支出金				
2 県支出金	500		1,650	
3 町債				
4 その他特財				
5 一般財源	500		1,150	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）			
【★ 7 次総 3201】（商工業）「空き家を活用した企業誘致」 【★ 7 次総 5202】（住宅、移住・定住）「新しく人を呼び込む基盤の整備」			
(1) 対象…①町内に空き家を所有している所有者 ②町外で空き家の活用を希望する希望者（特に若者及び家族世帯を対象とする）			
(2) 手段…①チラシ等で空き家バンクへの登録を P R する ② H P での周知や移住定住フェア等に参加し空き家を紹介する			
(3) 意図…①空き家バンクに登録することによって空き家を活用してもらえることができる ②人口が増加する			
(4) 結果…①町内に存在する空き家を減らすことができる ②人口増加につながる			
事業の概要			
平成3 1 年4 月～空き家バンク（H P ）を開設した。			
事業の実績			
R 0 4 年度空き家登録…1 件 R 0 3 年度空き家登録…0 件 R 0 2 年度空き家登録…1 件（成立） R 0 1 年度空き家登録…0 件			
事業の成果指標		事業の目標値	
空き家を活用して誘致した事業主等の数		単位 件	
		R05 年度末	1
		R06 年度末	1
		R07 年度末	1
R05 年度の到達目標（課題・改善策等）			
空き家登録…3 件 【課題】空き家バンクに登録するメリットがないように感じられる。（空き家改修補助金を設置するなど）			

事務事業評価の結果（1 次）	—	R05 年度の計画額	1,000	千円
事務事業評価の結果（2 次）	—	R05 年度の上限額	1,000	千円
<特記事項>				

【評価】 A 拡充・重点化 B 計画の承認 C 見直し・縮小 D 整理・統合 E 休止・廃止 ー 評価なし

会計区分	01	一般会計		令和 5 年 度 事 務 事 業 調 書						事業主体	11010000	企画課 企画係		
大 事 業 C D	32	(目標)	—					中 事 業 C D	03	(施策)	—			
		(政策)	—							(主要な取り組み)	—			
小 事 業 C D	01	イベント事業				事業年度	R03 ~ R12	成果目標	☐ 成果目標がある	成果指標	—			
款項目	02	総務費	01	総務管理費	08	企画費	小事業区分		新規・継続	☒ 成果目標がない	目標値	—		目標年度

(単位：千円)														
	R 0 5 年度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等				前年度(04 年度) 当初予算額	03年度 決算額							
○ 経 費 計	5,654	夏まつり実行委員会補助金 令和3年度実行委員会解散により削減				5,557	1,348							
1 報酬														
2 〜4給料手当等	544	町民まつり実行委員会補助金 3,500,000円				447	169							
5 災害補償費		その他、FC岐阜イベント経費、職員時間外手当												
7 報償費														
8 旅費		花火事業 1,500,000円												
9 交際費														
10 需用費	110					110	79							
1 消耗品費	110					110	79							
2 燃料費		※しあわせまちづくり基金の一部、ふるさと振興基金96,034,662円分(H31.3.31現在残高)から、夏祭り及び、町民まつり、町制○周年式典事業(50年毎以外)の経費に充てる。原資がなくなる前(3年前を目安に)までに、その後の事業継続についての方針を定める。												
3 食糧費														
4 印刷製本費														
5 光熱水費														
6 修繕料														
その他														
11 役務費														
12 委託料	1,500					1,500	1,100							
13 使賃料														
14 工事請負費														
15 原材料費														
16 公財購														
17 備品購入費														
18 負補交	3,500					3,500								
19 扶助費														
20 貸付金														
21 補てん賠														
22 償利割														
23 投資出資金														
24 積立金														
25 寄附金														
26 公課費														
27 繰出金														

○ 財 源 計	5,654	基準額・補助率・歳入科目コード等	5,557	
1 国庫支出金				
2 県支出金				
3 町債				
4 その他特財	5,000	しあわせまちづくり基金繰入金 他	5,000	
5 一般財源	654		557	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）	
【★7次総 3302】（観光）「魅力あるイベントの開催」	
町民まつりをはじめとする、町内の各種イベントについて、より魅力的な内容とし、来場者の増加及び地域住民の思い出となるイベントを開催することにより、地域への愛着を醸成する。	
事業の概要	
町民まつりを開催する実行委員会への補助を行う。冬花火事業の実施。 町内の各種イベントについて、より魅力的なイベント内容となるように検討する。	
令和3年10月の夏祭り実行委員会において解散となる。	
事業の実績	
令和3年度	観光入込客数 11,683人 町民まつり出店町内企業・業者 中止 目標指数 10,000人/年
令和2年度	観光入込客数 8,297人 町民まつり出店町内企業・業者 中止 目標指数 10,000人/年
令和元年度	観光入込客数 11,814人 町民まつり出店町内企業・業者 8団体 目標指標 20,000人/年（町民プール運営中止により入込客数減）
平成30年度	観光入込客数 34,444人 町民まつり出店町内企業・業者 8団体 目標指標 40,000人/年
事業の成果指標	事業の目標値
	単位
	R05 年度末
	R06 年度末
	R07 年度末
R05 年度の到達目標（課題・改善策等）	
坂祝町の魅力を発信し、足を運んでもらうようアイデアをだす。	

事務事業評価の結果（1次）	—	R05 年度の計画額	5,654	千円
事務事業評価の結果（2次）	—	R05 年度の上限額	5,654	千円
<特記事項>				

【評価】 A 拡充・重点化 B 計画の承認 C 見直し・縮小 D 整理・統合 E 休止・廃止 — 評価なし

会計区分	01	一般会計	令和 5 年度 事務事業調書						事業主体	11010000	企画課 企画係				
大事業 C D	32	(目標)	-						中事業 C D	04	(施策)	-			
		(政策)									(主要な取り組み)				
小事業 C D	01	猿ばみ城展望台周辺整備事業						事業年度	R03 ~ R12						
款項目	06	商工費	01	商工費	02	商工観光振興費	小事業区分	新規・継続	成果目標	☒ 成果目標がある	成果指標	猿ばみ城展望台への登山者数			
									☐ 成果目標がない		目標値	12, 000	目標年度	令和12年度	

	R 0 5 年度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等	前年度(04 年度) 当初予算額	03年度 決算額
○ 経 費 計	175	城山の登山道にかかる経費	158	254
1 報酬		消耗品、トイレ汲み取り料、借地料		
2 〜4給料手当等				
5 災害補償費		※登山道整備は引き続き森林環境税事業にて行う		
7 報償費				
8 旅費				
9 交際費				
10 需用費	55		53	211
1 消耗品費	20		18	2
2 燃料費				
3 食糧費				
4 印刷製本費				
5 光熱水費	5		5	2
6 修繕料	30		30	207
その他				
11 役務費	25		10	3
12 委託料	55		55	
13 使賃料	40		40	40
14 工事請負費				
15 原材料費				
16 公財購				
17 備品購入費				
18 負補交				
19 扶助費				
20 貸付金				
21 補てん賠				
22 償利割				
23 投資出資金				
24 積立金				
25 寄附金				
26 公課費				
27 繰出金				

○ 財 源 計	175	基準額・補助率・歳入科目コード等	158	
1 国庫支出金				
2 県支出金				
3 町債				
4 その他特財				
5 一般財源	175		158	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）	
【★7次総 3303】（観光）「観光施設の整備・管理」	
町の観光資源である猿ばみ城展望台や、登山道は一年を通じ町内外の住民に利用されている。利用者数は年々増加しており、その観光資源を地域との連携のもと整備することで、今後も観光資源としての利用を促し、交流人口の増加及び住民の地域への誇りや愛着を醸成する。	
事業の概要	
登山道周辺（簡易トイレ・看板等）の管理を行う。 地域で行われる登山道整備に参加・協力する。	
事業の実績	
令和3年度 11月21日地域住民との登山道整備、1月1日元旦登山（新型コロナウイルス感染症の影響により中止）簡易トイレ汲取り ほか 令和2年度 11月22日地域住民との登山道整備、1月1日元旦登山（新型コロナウイルス感染症の影響により中止）9月・2月簡易トイレ汲取り ほか 令和元年度 11月24日地域住民との登山道整備、1月1日元旦登山 ほか 30年度 11月25日地域住民との登山道整備、1月1日元旦登山、6月・2月簡易トイレ汲取り ほか 29年度 11月26日地域住民との登山道整備、1月1日元旦登山 ほか 28年度 12月4日地域住民との登山道整備、1月1日元旦登山、8月・12月簡易トイレ汲取り ほか	
事業の成果指標	事業の目標値
猿ばみ城展望台への登山者数	単位 人／年度
	R05 年度末 11, 500
	R06 年度末 11, 500
	R07 年度末 11, 500
R05 年度の到達目標（課題・改善策等）	

事務事業評価の結果（1 次）	—	R05 年度の計画額	175	千円
事務事業評価の結果（2 次）	—	R05 年度の上限額	175	千円
<特記事項>				

【評価】 A 拡充・重点化 B 計画の承認 C 見直し・縮小 D 整理・統合 E 休止・廃止 ー 評価なし

会計区分	01	一般会計		令和 5 年 度 事 務 事 業 調 書							事業主体	11010000	企画課 企画係		
大事業 C D	32	(目標)		—				中事業 C D	05	(施策)		—			
		(政策)		—						(主要な取り組み)		—			
小事業 C D	01	商工観光広域連携事業					事業年度	R03 ~ R12		成果目標	☐ 成果目標がある		成果指標	—	
款項目	06	商工費	01	商工費	01	商工観光総務費	小事業区分	新規・継続	☒ 成果目標がない		目標値	—	目標年度	—	

(単位：千円)

	R 0 5 年度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等	前年度(04 年度) 当初予算額	03年度 決算額
○ 経 費 計	20	日本ライン水上安全協議会負担金…木曽川の掃除、AEDの導入など	70	70
1 報酬				
2 〜4給料手当等		中山道連合負担金…パンフレットの作成など		
5 災害補償費				
7 報償費				
8 旅費		※AEDは水上安全協議会が木曽川観光、YHAラフティングの事務所に設置予定。管理も協議会が実施していく。		
9 交際費				
10 需用費				
1 消耗品費				
2 燃料費				
3 食糧費				
4 印刷製本費				
5 光熱水費				
6 修繕料				
その他				
11 役務費				
12 委託料				
13 使賃料				
14 工事請負費				
15 原材料費				
16 公財購				
17 備品購入費				
18 負補交	20		70	70
19 扶助費				
20 貸付金				
21 補てん賠				
22 償利割				
23 投資出資金				
24 積立金				
25 寄附金				
26 公課費				
27 繰出金				

○ 財 源 計	20	基準額・補助率・歳入科目コード等	70	
1 国庫支出金				
2 県支出金				
3 町債				
4 その他特財				
5 一般財源	20		70	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）	
【★ 7次総 3304】（観光）「観光事業の広域的な連携の強化」 【★ 7次総 6506】（行政運営）「近隣市町村との連携強化」	
坂祝町の観光資源は、他地域と比べると少ないため、他地域と広域的に観光行政を連携し内外に向け情報発信を行う。	
事業の概要	
中山道連合等に負担金を支出して、広域的な観光行政の連携・推進を行う。また、各イベントにおいて情報発信を行う。	
事業の実績	
令和 3年度 観光 P R 回数 1回・年／2回 River to Summit2022 令和 2年度 観光 P R 回数 0回・年／2回 新型コロナウイルス感染症の影響により事業なし 令和元年度 観光 P R 回数 1回・年／2回 中山道17宿歩き旅 平成30年度 観光 P R 回数 1回・年／2回 中山道17宿歩き旅 平成29年度 観光 P R 回数 2回・年／2回 O K B 会館、かも1グランプリ 平成28年度 観光 P R 回数 3回・年／3回 刈谷ハイウェイオアシス、名古屋城、かも1グランプリ 平成26年度 観光 P R 回数 3回・年／3回 オアシス 2 1、中日ビル、湯の華アイランド 平成25年度 観光 P R 回数 4回・年／3回 犬山城下、オアシス 2 1、中日ビル、昭和村ハーフマラソン	
事業の成果指標	事業の目標値
	単位
	R05 年度末
	R06 年度末
	R07 年度末
R05 年度の到達目標（課題・改善策等）	

事務事業評価の結果（1 次）	—	R05 年度の計画額	20	千円
事務事業評価の結果（2 次）	—	R05 年度の上限額	20	千円
<特記事項>				

【評価】 A 拡充・重点化 B 計画の承認 C 見直し・縮小 D 整理・統合 E 休止・廃止 — 評価なし

会計区分	01	一般会計		令和 5 年 度 事 務 事 業 調 書						事業主体	11010000	企画課 企画係		
大事業 C D	34	(目標)		—				中事業 C D	01	(施策)		—		
		(政策)		—						(主要な取り組み)		—		
小事業 C D	01	多文化交流・啓発事業				事業年度	R03 ～ R12		成果目標	☐ 成果目標がある		成果指標	—	
款項目	02	総務費	01	総務管理費	08	企画費	小事業区分	新規・継続		☒ 成果目標がない		目標値	—	目標年度

(単位：千円)													
	R 0 5 年度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等					前年度(04 年度) 当初予算額	03年度 決算額					
○ 経 費 計	533	外国人向け教室や料理教室を開催する					508	322					
1 報酬		R5はみのかも定住自立圏の事業として日本語教室を行う。											
2 ～4給料手当等													
5 災害補償費													
7 報償費	488						448	303					
8 旅費													
9 交際費													
10 需用費	30						40	8					
1 消耗品費	30						40	8					
2 燃料費													
3 食糧費													
4 印刷製本費													
5 光熱水費													
6 修繕料													
その他													
11 役務費	15						20	11					
12 委託料													
13 使賃料													
14 工事請負費													
15 原材料費													
16 公財購													
17 備品購入費													
18 負補交													
19 扶助費													
20 貸付金													
21 補てん賠													
22 償利割													
23 投資出資金													
24 積立金													
25 寄附金													
26 公課費													
27 繰出金													

○ 財 源 計	533	基準額・補助率・歳入科目コード等					508	
1 国庫支出金								
2 県支出金								
3 町債								
4 その他特財	24						26	
5 一般財源	509						482	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）									
【★ 7 次総 6103】（地域間交流・多文化共生）「多文化共生社会づくりに向けた意識啓発・相互理解の推進」									
相互の文化や生活習慣などの理解を深めるため、交流機会の創出や情報提供を行う。									
事業の概要									
定住外国人自立支援センターが中心となり、外国人向けの日本語教室の開催をしながら、多文化共生のための意識啓発や住民相互の理解を深める。									
事業の実績									
令和 4 年度 ひらがなカタカナ2回 漢字10回 文法10回 単語10回 令和 3 年度 生活の日本語教室6回 職場で役立つ日本語教室10回 検定向け日本語教室10回 令和 2 年度 文化庁補助事業 親子で学ぶ日本語10回 生活の日本語8回 多読で学ぶ日本語8回 職場で役立つ日本語10回 コーディネーター研修8回 指導者研修4回 令和元年度 文化庁補助事業 仕事の日本語23回、生活の日本語8回、養成講座13回 平成30年度 外国人ママ向けお弁当講座 1回 外国人向け料理講座 2回 日本人サポーター養成講座 5回 平成29年度 外国人ママ向けお弁当講座 1回 外国人向け料理講座 2回 日本人サポーター養成講座 5回 平成28年度 外国人ママ向けお弁当講座 1回 外国人向け料理講座 1回 日本人サポーター養成講座 4回									
事業の成果指標									
事業の目標値									
単位									
R05 年度末									
R06 年度末									
R07 年度末									
R05 年度の到達目標（課題・改善策等）									
外国では弁当づくりの文化がない。弁当作りを通じて、仲間意識やさまざまな交流ができたが、外国籍住民だけでなく、ワールドカフェなど日本人と外国籍住民との交流の機会も必要ではないかと感じている。自立支援センター職員と相談し、企画開催していきようにする。 また、就労支援や放課後教室につなげられるよう、日本語教室開設を目指していく。									

事務事業評価の結果（1 次）	—	R05 年度の計画額	533	千円
事務事業評価の結果（2 次）	—	R05 年度の上限額	533	千円
<特記事項>				

【評価】 A 拡充・重点化 B 計画の承認 C 見直し・縮小 D 整理・統合 E 休止・廃止 ー 評価なし

会計区分	01	一般会計		令和 5 年 度 事 務 事 業 調 書						事業主体	11010000	企画課 企画係			
大事業 C D	34	(目標)		—				中事業 C D	02	(施策)		—			
		(政策)		—						(主要な取り組み)		—			
小事業 C D	02	定住外国人しごとサポート事業				事業年度	R03 ~ R12	成果目標	☐ 成果目標がある		成果指標	—			
款項目	02	総務費	01	総務管理費	08	企画費	小事業区分		新規・継続	☒ 成果目標がない		目標値	—		目標年度

(単位：千円)													
	R O 5 年度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等				前年度(04 年度) 当初予算額	03年度 決算額						
○ 経 費 計	6,631	定住外国人支援センター職員の報酬				6,452	5,985						
1 報酬	5,408	しごとサポート講座の講師謝金				5,252	5,038						
2 〜4給料手当等	1,053					1,025	790						
5 災害補償費													
7 報償費													
8 旅費	170					175	157						
9 交際費													
10 需用費													
1 消耗品費													
2 燃料費													
3 食糧費													
4 印刷製本費													
5 光熱水費													
6 修繕料													
その他													
11 役務費													
12 委託料													
13 使賃料													
14 工事請負費													
15 原材料費													
16 公財購													
17 備品購入費													
18 負補交													
19 扶助費													
20 貸付金													
21 補てん賠													
22 償利割													
23 投資出資金													
24 積立金													
25 寄附金													
26 公課費													
27 繰出金													

○ 財 源 計	6,631	基準額・補助率・歳入科目コード等	6,452	
1 国庫支出金	2,736		2,736	
2 県支出金				
3 町債				
4 その他特財		就労支援日本語教室参加者負担金		
5 一般財源	3,895		3,716	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）			
【★7次総 6104】（地域間交流・多文化共生）「多言語による相談・情報提供の実施」 外国人が安心して定住できるよう、困りごとの相談や、各種届出、通訳、翻訳など実施します。			
事業の概要			
近隣市へのアクセスの良さから当町から近隣市へ仕事に出かける人が多く、さらに多くの外国人住民を定住させるために企業等との連携を図りながら、求められる人材を育て、しごとに結び付けられる生かせる日本語の習得などサポートをしていく。その他、定住自立圏構想事業等の日本人と外国人の交流の場のセッティング等により、壁を取り除くことや各種相談にも対応し、外国人の定住化促進につなげていく。			
事業の実績			
事業の成果指標		事業の目標値	
		単位	
		R05 年度末	
		R06 年度末	
		R07 年度末	
R05 年度の到達目標（課題・改善策等）			

事務事業評価の結果（1 次）	—	R05 年度の計画額	6,631	千円
事務事業評価の結果（2 次）	—	R05 年度の上限額	6,631	千円
<特記事項>				

【評価】 A 拡充・重点化 B 計画の承認 C 見直し・縮小 D 整理・統合 E 休止・廃止 — 評価なし

会計区分	01	一般会計		令和 5 年 度 事 務 事 業 調 書							事業主体	11010000	企画課 企画係		
大事業 C D	41	(目標)	-					中事業 C D	12	(施策)	-				
		(政策)								(主要な取り組み)					
小事業 C D	02	地域活性化補助事業					事業年度	R03 ~ R12	成果目標	■ 成果目標がある	成果指標	地域活性化補助金支給件数			
款項目	02	総務費	01	総務管理費	08	企画費	小事業区分	新規・継続		□ 成果目標がない	目標値	5	目標年度	令和12年度	

(単位：千円)

	R O 5 年度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等	前年度(04 年度) 当初予算額	03年度 決算額
○ 経 費 計	300	地域活性化補助金の支払い 1 件あたり補助限度100,000円	500	425
1 報酬				
2 〜4給料手当等				
5 災害補償費				
7 報償費		黒岩祭囃子保存会 5 回目		
8 旅費		大針御祭り保存会 3 回目		
9 交際費		つぐみ食堂「ほのぼの」4 回目		
10 需用費		加茂山愛花倶楽部 終了		
1 消耗品費				
2 燃料費		あと令和5年度でこの補助事業を終了します。		
3 食糧費				
4 印刷製本費		令和5 5 年度中に、新たにまちづくりに係る団体やN P O 法人		
5 光熱水費		等に対する補助制度を研究し創設する。		
6 修繕料				
その他				
11 役務費				
12 委託料				
13 使賃料				
14 工事請負費				
15 原材料費				
16 公財購				
17 備品購入費				
18 負補交	300		500	425
19 扶助費				
20 貸付金				
21 補てん賠				
22 償利割				
23 投資出資金				
24 積立金				
25 寄附金				
26 公課費				
27 繰出金				

○ 財 源 計	300	基準額・補助率・歳入科目コード等	500	
1 国庫支出金				
2 県支出金				
3 町債				
4 その他特財				
5 一般財源	300		500	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）	
【★7次総 6303】（コミュニティ）「地域住民の自主的な地域活性化の支援」	
近年、地域住民間のコミュニティ希薄化するなか、協働のまちづくりの基本となる地域コミュニティの活性化に向け、地域の創意工夫による個性を生かした取組が必要となるため、地域住民が主体となって開催する活動や行事に対し支援を行う。	
事業の概要	
地域住民が主体となり、地域コミュニティを活性化させ、今後の住民主体のまちづくりにつなげる取組に対し支援を行う。	
【補足説明】24年度から新たなルールとして、同一団体への補助は原則5年間とすることとした。 ※「当該補助金を利用し、継続的な活動が可能となる団体等の育成を促す一助とするものである。」と交付要綱にあるため、補助金期間が終了した後でも継続が見込まれる団体とする。	
事業の実績	
令和3年度	補助件数 5件 / 目標指標 5件
令和2年度	補助件数 5件 / 目標指標 5件
令和元年度	補助件数 4件 / 目標指標 5件
平成30年度	補助件数 5件 / 目標指標 7件
平成29年度	補助件数 4件 / 目標指標 6件
平成28年度	補助件数 3件 / 目標指標 6件
平成27年度	補助件数 4件 / 目標指標 6件
平成26年度	補助件数 4件 / 目標指標 6件
事業の成果指標	事業の目標値
地域活性化に資する地域活動・地域行事を実施する団体への補助件数	単位 件 / 年度
	R05 年度末 4
	R06 年度末 4
	R07 年度末 4
R05 年度の到達目標（課題・改善策等）	
5 回目到達団体の今後の支援について	

事務事業評価の結果（1 次）	—	R05 年度の計画額	300	千円
事務事業評価の結果（2 次）	—	R05 年度の上限額	300	千円
<特記事項>				

【評価】 A 拡充・重点化 B 計画の承認 C 見直し・縮小 D 整理・統合 E 休止・廃止 — 評価なし

会計区分	01	一般会計		令和 5 年 度 事 務 事 業 調 書							事業主体	11010000	企画課 企画係		
大事業 C D	41	(目標)	-					中事業 C D	13	(施策)	-				
		(政策)								(主要な取り組み)					
小事業 C D	01	地区懇談会サポート事業					事業年度	R03 ~ R12	成果目標	☒ 成果目標がある	成果指標	地区サポーターの自治会活動参加数			
款項目	02	総務費	01	総務管理費	08	企画費	小事業区分	新規・継続		☐ 成果目標がない	目標値	20	目標年度	令和12年度	

(単位：千円)

	R 0 5 年度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等	前年度(04 年度) 当初予算額	03年度 決算額
○ 経 費 計	0	地区懇談会の開催を町から求めることがなくなり、職員のサポート実態がなくなりました。	486	0
1 報酬				
2 〜4給料手当等		コロナ禍において自治会活動も減少しました。	396	
5 災害補償費		各自治会における困りごとは、困りごとの内容によって各課での対応とし、本事業を終了します。		
7 報償費				
8 旅費				
9 交際費				
10 需用費			90	
1 消耗品費			90	
2 燃料費				
3 食糧費				
4 印刷製本費				
5 光熱水費				
6 修繕料				
その他				
11 役務費				
12 委託料				
13 使賃料				
14 工事請負費				
15 原材料費				
16 公財購				
17 備品購入費				
18 負補交				
19 扶助費				
20 貸付金				
21 補てん賠				
22 償利割				
23 投資出資金				
24 積立金				
25 寄附金				
26 公課費				
27 繰出金				

○ 財 源 計	0	基準額・補助率・歳入科目コード等	486	
1 国庫支出金				
2 県支出金				
3 町債				
4 その他特財				
5 一般財源			486	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）	
【★ 7 次総 6402】（住民参画・協働）「地域活動の支援」 【★ 7 次総 6503】（行政運営）「広聴機会の拡充」	
住民と町職員による協働のまちづくりを推進する。	
事業の概要	
総合計画にある地域活動の支援において、町職員によるサポートメンバーを配置し、各自治会への支援や相談を行います。 また、自治会以外の地域コミュニティの組織形態や住民が主体となって活動するための新たな組織づくりに対し、住民と伴に検討を進める。	
事業の実績	
平成31年度 参加者延べ人数 1,043人／目標指標 500人 地区懇談会等開催実績なし その他行事 11回（酒倉5 大針3 黒岩0 深萱3 勝山2 取組2 加茂山3） 平成30年度 参加者延べ人数 425人／目標指標 500人 地区懇談会等開催回数 6回（酒倉1 大針1 黒岩0 深萱1 勝山1 取組1 加茂山1） 平成29年度 参加者延べ人数 1,405人／目標指標 500人 地区懇談会等開催回数 10回（酒倉3 大針1 黒岩1 深萱1 勝山1 取組1 加茂山2） 平成28年度 参加者延べ人数 251人／目標指標 500人 地区懇談会等開催回数 11回（酒倉4 大針1 黒岩1 深萱0 勝山0 取組1 加茂山4）	
事業の成果指標	事業の目標値
地区サポーターが担当自治会の会議やイベントに参加した回数	単位 回／年度
	R05 年度末 0
	R06 年度末 0
	R07 年度末 0
R05 年度の到達目標（課題・改善策等）	
自治会ごとにサポートメンバーを選出し、自治会からの要望内容により、サポートメンバー又は担当課が問題解決にあたる。	

事務事業評価の結果（1 次）	—	R05 年度の計画額	0	千円
事務事業評価の結果（2 次）	—	R05 年度の上限額	0	千円
<特記事項>				

【評価】 A拡充・重点化 B計画の承認 C見直し・縮小 D整理・統合 E休止・廃止 ー評価なし

会計区分	01	一般会計		令和 5 年 度 事 務 事 業 調 書							事業主体	11010000	企画課 企画係		
大事業 C D	41	(目標)	—					中事業 C D	21	(施策)	—				
		(政策)	—							(主要な取り組み)	—				
小事業 C D	02	ホームページ運営事業					事業年度	R03 ~ R12	成果目標	☐ 成果目標がある	成果指標	—			
款項目	02	総務費	01	総務管理費	02	文書広報費	小事業区分	新規・継続		☒ 成果目標がない	目標値	—		目標年度	—

(単位：千円)

	R 0 5 年度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等	前年度(04 年度) 当初予算額	03年度 決算額
○ 経 費 計	2, 227	町ホームページの管理委託料	2, 158	2, 139
1 報酬				
2 〜4給料手当等				
5 災害補償費				
7 報償費				
8 旅費				
9 交際費				
10 需用費				
1 消耗品費				
2 燃料費				
3 食糧費				
4 印刷製本費				
5 光熱水費				
6 修繕料				
その他				
11 役務費				
12 委託料	2, 227		2, 158	2, 139
13 使賃料				
14 工事請負費				
15 原材料費				
16 公財購				
17 備品購入費				
18 負補交				
19 扶助費				
20 貸付金				
21 補てん賠				
22 償利割				
23 投資出資金				
24 積立金				
25 寄附金				
26 公課費				
27 繰出金				

○ 財 源 計	2, 227	基準額・補助率・歳入科目コード等	2, 158	
1 国庫支出金				
2 県支出金				
3 町債				
4 その他特財	72	バナー広告料収入	72	
5 一般財源	2, 155		2, 086	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）		
【★ 7 次総 6501】（行政運営）「ITを利用した情報提供体制の整備」		
ホームページの内容の充実に努め、町情報の提供体制を整備する。 また、一方で高齢者や障がい者、子どもなど、誰に対してもわかりやすく、見やすいものにする。		
事業の概要		
町ホームページを活用し、わかりやすい最新情報をより多くの住民に向けて発信する。		
事業の実績		
3年度	月平均アクセス数	53, 334PV
	新規ページ作成	5件
2年度	月平均アクセス数	54, 683PV
	新規ページ作成	5件
元年度	月平均アクセス数	53, 218PV
	新規ページ作成	8件
30年度	月平均アクセス数	62, 137PV
	新規ページ作成	5件
事業の成果指標		事業の目標値
		単位
		R05 年度末
		R06 年度末
		R07 年度末
R05 年度の到達目標（課題・改善策等）		

事務事業評価の結果（1 次）	—	R05 年度の計画額	2, 227	千円
事務事業評価の結果（2 次）	—	R05 年度の上限額	2, 227	千円
<特記事項>				

【評価】 A 拡充・重点化 B 計画の承認 C 見直し・縮小 D 整理・統合 E 休止・廃止 — 評価なし

会計区分	01	一般会計		令和 5 年 度 事 務 事 業 調 書						事業主体	11010000	企画課 企画係	
大事業 C D	41	(目標)	—					中事業 C D	22	(施策)	—		
		(政策)	—							(主要な取り組み)	—		
小事業 C D	01	広報活動事業				事業年度	R03 ~ R12	成果目標	☐ 成果目標がある	成果指標	—		
款項目	02	総務費	01	総務管理費	02	文書広報費	小事業区分		新規・継続	☒ 成果目標がない	目標値	—	目標年度

(単位：千円)

	R O 5 年度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等	前年度(04 年度) 当初予算額	03年度 決算額
○ 経 費 計	5, 082	町広報紙の印刷製本費 (年 1 2 回発行)	2, 541	2, 585
1 報酬		広報紙の郵送代、その他消耗品費		
2 ～4給料手当等				
5 災害補償費				
7 報償費		坂祝町 P R 動画の製作。県観光回廊補助金の申請をし採択され		
8 旅費		た場合、実施します。新築された県庁内での動画の上映にも使用		
9 交際費		できる。		
10 需用費	3, 371		2, 480	2, 537
1 消耗品費	26		26	12
2 燃料費				
3 食糧費				
4 印刷製本費	3, 345		2, 454	2, 525
5 光熱水費				
6 修繕料				
その他				
11 役務費	46		46	33
12 委託料	1, 650			
13 使賃料				
14 工事請負費				
15 原材料費				
16 公財購				
17 備品購入費				
18 負補交	15		15	15
19 扶助費				
20 貸付金				
21 補てん賠				
22 償利割				
23 投資出資金				
24 積立金				
25 寄附金				
26 公課費				
27 繰出金				

○ 財 源 計	5, 082	基準額・補助率・歳入科目コード等	2, 541	
1 国庫支出金				
2 県支出金	1, 013	県広報配布補助金	202	
3 町債				
4 その他特財	15	広報紙広告収入	90	
5 一般財源	4, 054		2, 249	

事業の目的 (何をどのような状態にしたいのか)	
【★ 7 次総 6502】 (行政運営) 「広報紙の充実」	
「広報さかほぎ」の内容の充実を図るとともに、より多くの世帯に配布することで、情報提供の充実を図る。また、町内の大型店舗の協力を得て店内に広報紙ラックを設置し、町の情報提供の充実を図る。	
事業の概要	
「広報さかほぎ」を月 1 回発行する。広報紙は町の情報提供媒体のひとつとして、ホームページなどとあわせて、坂祝町のさまざまな情報を提供する。また、一方で高齢者や障がい者、子どもなど、誰に対してもわかりやすく、見やすい広報を行うことも大切であり、従来からの自治会掲示板や回覧板を活用した、地域に身近なところで情報を入手できる環境づくりを充実する。	
事業の実績	
3年度広報さかほぎ発行部数 2, 500部/月/目標指標 2, 500部/月 2年度広報さかほぎ発行部数 2, 500部/月/目標指標 2, 650部/月 1年度広報さかほぎ発行部数 2, 500部/月/目標指標 2, 650部/月 30年度広報さかほぎ発行部数 2, 500部/月/目標指標 2, 650部/月 29年度広報さかほぎ発行部数 2, 500部/月/目標指標 2, 650部/月 28年度広報さかほぎ発行部数 2, 500部/月/目標指標 2, 650部/月 26年度広報さかほぎ発行部数 2, 500部/月/目標指標 2, 650部/月	
事業の成果指標	事業の目標値
	単位
	R05 年度末
	R06 年度末
	R07 年度末
R05 年度の到達目標 (課題・改善策等)	
広報さかほぎ発行部数 2, 500部/月	

事務事業評価の結果 (1 次)	—	R05 年度の計画額	5, 082	千円
事務事業評価の結果 (2 次)	—	R05 年度の上限額	5, 082	千円
<特記事項>				

【評価】 A 拡充・重点化 B 計画の承認 C 見直し・縮小 D 整理・統合 E 休止・廃止 — 評価なし

会計区分	01	一般会計		令和 5 年 度 事 務 事 業 調 書						事業主体	11010000	企画課 企画係			
大事業 C D	42	(目標)	-				中事業 C D	01	(施策)	-					
		(政策)							(主要な取り組み)						
小事業 C D	01	定住自立圏構想推進事業				事業年度	R03 ~ R12		成果目標	■ 成果目標がある	成果指標	「みのかも定住自立圏」での連携事業数			
款項目	02	総務費	01	総務管理費	08	企画費	小事業区分	新規・継続		□ 成果目標がない	目標値	2	目標年度	令和12年度	

(単位：千円)

	R O 5 年度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等	前年度(04 年度) 当初予算額	03年度 決算額
○ 経 費 計	7, 343	19 負担金	6, 685	6, 115
1 報酬		定住自立圏構想推進事業負担金		
2 〜4給料手当等		下記①+②=7, 342, 515円		
5 災害補償費				
7 報償費		【重点事業】 922, 204円…①		
8 旅費		・ 24時間電話相談窓口事業 581, 936円		
9 交際費		・ 情報の多言語化、発信の支援事業事務費 2, 084円		
10 需用費		(事業費は担当で計上)		
1 消耗品費		・ のぞみ教室推進事業 338, 184円		
2 燃料費		(20, 000円×1人×6か月)		
3 食糧費		【基本事業】 6, 420, 311円…②		
4 印刷製本費		・ 里山再生プロジェクト事業 3, 385, 000円		
5 光熱水費		・ 生物多様性地域連携促進事業 530, 821円		
6 修繕料		・ 地域情報放送事業 396, 000円		
その他		・ ファミリー・サポート・センター事業 561, 927円		
11 役務費		・ エリアサービスマップ事業 36, 478円		
12 委託料		・ 幼児療育支援事業 133, 817円		198
13 使賃料		・ 図書システム広域利用事業 1, 006, 894円		
14 工事請負費		・ 生涯学習ホームページ構築事業 231, 194円		
15 原材料費		・ 男女共同参画推進事業 36, 840円		
16 公財購		・ 消費生活事業事務費 44, 677円		
17 備品購入費		(人件費は担当で計上)		
18 負補交	7, 343	・ みのかも定住自立圏推進事業（事務局費） 56, 663円	6, 685	5, 917
19 扶助費		・ Kisoジオパークにぎわい創出事業（産業建設課で計上）		
20 貸付金				
21 補てん賠				
22 償利割				
23 投資出資金				
24 積立金				
25 寄附金				
26 公課費				
27 繰出金				

○ 財 源 計	7, 343	基準額・補助率・歳入科目コード等	6, 685	
1 国庫支出金				
2 県支出金				
3 町債				
4 その他特財		物販収入（夕雲の城）	15	
5 一般財源	7, 343		6, 670	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）			
【★7次総 6505】（行政運営）「定住自立圏構想の推進」			
定住自立圏構想に基づく協定締結市との各種事業の連携により、圏域全体の暮らしに必要な都市機能を集約的に整備するとともに、町において必要な生活機能を確認し、農林水産業の振興や豊かな自然環境の保全等を図るなど、互いに連携・協力することにより、圏域全体の活性化を図る。			
事業の概要			
「みのかも定住自立圏共生ビジョン」に基づき、圏域の市町村との連携のもと、事業の推進を図る。現在、教育分野では、生涯学習の相互協力や図書館の貸し出しなどの事業を連携により推進します。今後においても、連携分野を増やし各事業を推進する。			
事業の実績			
令和5年度	連携事業数	16事業	目標指数 20事業
令和4年度	連携事業数	14事業	目標指数 20事業
令和3年度	連携事業数	15事業	目標指数 20事業
令和2年度	連携事業数	16事業	目標指数 20事業
令和元年度	連携事業数	17事業	目標指標 20事業
平成30年度	連携事業数	18事業	目標指標 20事業
平成29年度	連携事業数	16事業	目標指標 20事業
平成28年度	連携事業数	16事業	目標指標 20事業
事業の成果指標		事業の目標値	
「みのかも定住自立圏」における坂祝町提案事業の連携事業数		単位	事業
		R05 年度末	1
		R06 年度末	1
		R07 年度末	1
R05 年度の到達目標（課題・改善策等）			

事務事業評価の結果（1 次）	—	R05 年度の計画額	7, 343	千円
事務事業評価の結果（2 次）	—	R05 年度の上限額	7, 343	千円
<特記事項>				

【評価】 A 拡充・重点化 B 計画の承認 C 見直し・縮小 D 整理・統合 E 休止・廃止 ー 評価なし

会計区分	01	一般会計		令和 5 年 度 事 務 事 業 調 書						事業主体	11010000	企画課 企画係		
大事業 C D	42	(目標)	-					中事業 C D	03	(施策)	-			
		(政策)								(主要な取り組み)				
小事業 C D	01	官学連携事業				事業年度	R03 ~ R12	成果目標	☒ 成果目標がある	成果指標	官学連携事業数			
款項目	02	総務費	01	総務管理費	08	企画費	小事業区分		新規・継続	☐ 成果目標がない	目標値			目標年度

(単位：千円)

	R 0 5 年度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等	前年度(04 年度) 当初予算額	03年度 決算額
○ 経 費 計	100	大学等と連携し、行政だけではできない事業を行う (岐阜協立大学、中日本自動車短期大学、岐阜大学等)	108	0
1 報酬		講師謝金、費用弁償、消耗品費を計上		
2 〜4給料手当等		※ただし継続的に各課事業で実施するもの（事業課で位置づけ があるもの）は、事業課で予算計上		
5 災害補償費				
7 報償費	76		60	
8 旅費	19		18	
9 交際費				
10 需用費	5		30	
1 消耗品費	5		30	
2 燃料費				
3 食糧費				
4 印刷製本費				
5 光熱水費				
6 修繕料				
その他				
11 役務費				
12 委託料				
13 使賃料				
14 工事請負費				
15 原材料費				
16 公財購				
17 備品購入費				
18 負補交				
19 扶助費				
20 貸付金				
21 補てん賠				
22 償利割				
23 投資出資金				
24 積立金				
25 寄附金				
26 公課費				
27 繰出金				

○ 財 源 計	100	基準額・補助率・歳入科目コード等	108	
1 国庫支出金				
2 県支出金				
3 町債				
4 その他特財				
5 一般財源	100		108	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）	
【★ 7次総 6507】（行政運営）「官学連携の推進」	
町が策定する各計画や、まちづくりや地域おこしに取り組んでいく住民活動（ボランティア団体やNPO）に対して、官学連携に基づきその知識・技術の提供を受け、住民活動の拡充又は坂祝町のまちづくり及び地域の活性化を図る。	
事業の概要	
町が作成する各計画の策定に関する助言等の提供や委員会への参画を通じ、地域課題の解決に向けた活動、地域人材の育成や地域振興を推進等、多様な分野で包括的に緊密な協力関係を築き、持続的・発展的に連携を深める。	
事業の実績	
令和04年度（見込み） 連携事業数 2事業（公共交通、教育）／目標指数 3事業 ※R3. 10月岐阜大学との連携協定の締結 連携事業の見直し	
令和03年度 連携事業数 0回／目標指数 4回	※新型コロナウイルス感染症の影響により中止
令和02年度 連携事業数 0回／目標指数 4回	※新型コロナウイルス感染症の影響により中止
令和元年度 連携事業数 1回／目標指数 4回	
平成30年度 連携事業数 2回／目標指数 4回	
平成29年度 連携事業数 2回／目標指数 4回	
平成28年度 連携事業数 1回／目標指数 4回	
事業の成果指標	事業の目標値
官学連携で実施した事業数	単位 事業／年度
	R05 年度末 1
	R06 年度末 1
	R07 年度末 1
R05 年度の到達目標（課題・改善策等）	
連携事業数 4事業 課題：委員委嘱以外での連携事業の模索	

事務事業評価の結果（1 次）	—	R05 年度の計画額	100	千円
事務事業評価の結果（2 次）	—	R05 年度の上限額	100	千円
<特記事項>				

【評価】 A 拡充・重点化 B 計画の承認 C 見直し・縮小 D 整理・統合 E 休止・廃止 — 評価なし

会計区分	01	一般会計		令和 5 年 度 事 務 事 業 調 書							事業主体	11010000	企画課 企画係		
大事業 C D	42	(目標)	—					中事業 C D	14	(施策)	—				
		(政策)	—							(主要な取り組み)	—				
小事業 C D	01	公会計制度対応事業					事業年度	R03 ～ R12	成果目標	☐ 成果目標がある	成果指標	—			
款項目	02	総務費	01	総務管理費	01	一般管理費	小事業区分	新規・継続		☒ 成果目標がない	目標値	—		目標年度	—

(単位：千円)

	R O 5 年度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等	前年度(04 年度) 当初予算額	03年度 決算額
○ 経 費 計	1,860	総務省改訂モデルによる財務書類は平成28年度（平成27年度決算分）までで終了し、平成29年度（平成28年度決算分）から統一基準による財務書類を作成	1,860	2,040
1 報酬				
2 ～4給料手当等				
5 災害補償費				
7 報償費		システム（P P P）は平成28年度に総務課財政担当において導入済。財務書類作成支援業務を会計事務所に委託		
8 旅費				
9 交際費				
10 需用費		令和1年度から下水道事業会計との連結を開始		
1 消耗品費				
2 燃料費		令和4年度		
3 食糧費		公会計システムの保守及び財務書類作成支援業務を併せて委託することによる委託料の減		
4 印刷製本費				
5 光熱水費				
6 修繕料		令和5年度より事務移管のため企画課にて実施		
その他				
11 役務費	1		1	1
12 委託料	1,859		1,859	2,039
13 使賃料				
14 工事請負費				
15 原材料費				
16 公財購				
17 備品購入費				
18 負補交				
19 扶助費				
20 貸付金				
21 補てん賠				
22 償利割				
23 投資出資金				
24 積立金				
25 寄附金				
26 公課費				
27 繰出金				

○ 財 源 計	1,860	基準額・補助率・歳入科目コード等	1,860	
1 国庫支出金				
2 県支出金				
3 町債				
4 その他特財				
5 一般財源	1,860		1,860	

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）			
【★7次総6602】（財政運営）「効率的な財政運営」			
総務省が示す「統一的な基準による財務書類」を作成し、町の現在の状況を把握・分析し、より透明性の高い財政状況や資産・負債の状況などを示し、説明責任を果たしていく。 また、将来に渡っての公共施設などの管理において活用し、適正な維持管理が行えるようにしていく。			
事業の概要			
平成23年度より行ってきた「総務省改訂モデル」による財政状況の公表を平成29年度より「統一的な基準による財務諸表」に切り替え、一般会計のみならず特別会計・企業会計との「全体財務書類」、一部事務組合などの財務状況も取り込んだ「連結財務書類」の作成・公表を行う。			
事業の実績			
R03年度実績統一基準財務書類公表 R02年度実績統一基準財務書類公表 R01年度実績統一基準財務書類公表 H30年度実績統一基準財務書類公表 H29年度実績統一基準財務書類公表 H28年度実績連結財務4表公表 H27年度実績連結財務4表公表 H26年度実績連結財務4表公表			
※下水道事業会計の連結開始 ※農集・下水は公営企業会計移行の集中取組期間のため連結なし ※農集・下水は公営企業会計移行の集中取組期間のため連結なし ※農集・下水は公営企業会計移行の集中取組期間のため連結なし ※農集・下水は公営企業会計移行の集中取組期間のため連結なし			
事業の成果指標		事業の目標値	
		単位	
		R05 年度末	
		R06 年度末	
		R07 年度末	
R05 年度の到達目標（課題・改善策等）			
統一基準による財務諸表の作成・公表も年度を重ね、年内（12月末）を目途に作成できるベースとなってきた。 今後は、分析を含め、財政当局と協力しながら、システムによる多様なデータを活用出来るよう活用方法について検討していく。			

事務事業評価の結果（1 次）	—	R05 年度の計画額	1,860	千円
事務事業評価の結果（2 次）	—	R05 年度の上限額	1,860	千円
<特記事項>				

【評価】 A拡充・重点化 B計画の承認 C見直し・縮小 D整理・統合 E休止・廃止 一評価なし

会計区分	01	一般会計	令和 5 年 度 事 務 事 業 調 書							事業主体	11010000	企画課 企画係		
大事業 C D	51	(目標)	—					中事業 C D	11	(施策)	—			
		(政策)	—							(主要な取り組み)	—			
小事業 C D	10	企画総務事務経費					事業年度	R03 ~ R12	成果目標	☐ 成果目標がある	成果指標	—		
款項目	02	総務費	01	総務管理費	08	企画費	小事業区分	新規・継続		☒ 成果目標がない	目標値	—		目標年度

(単位：千円)														
	R O 5 年度 予算要求額	当 該 年 度 の 事 業 詳 細 等					前年度(04 年度) 当初予算額	03年度 決算額						
○ 経 費 計	33,050	企画課職員人件費					32,177	30,840						
1 報酬		フォークリフト点検費、運転講習料、保険料												
2 ～4給料手当等	32,610	企画課消耗品費、郵送料					31,740	30,484						
5 災害補償費		その他企画課関係団体への負担金												
7 報償費														
8 旅費														
9 交際費														
10 需用費	229						223	192						
1 消耗品費	91						101	6						
2 燃料費	124						108	68						
3 食糧費														
4 印刷製本費														
5 光熱水費														
6 修繕料	14						14	118						
その他														
11 役務費	79						100	129						
12 委託料	99						79							
13 使賃料														
14 工事請負費														
15 原材料費														
16 公財購														
17 備品購入費														
18 負補交	33						35	35						
19 扶助費														
20 貸付金														
21 補てん賠														
22 償利割														
23 投資出資金														
24 積立金														
25 寄附金														
26 公課費														
27 繰出金														

○ 財 源 計	33,050	基準額・補助率・歳入科目コード等					32,177		
1 国庫支出金									
2 県支出金	77	N P O 法人設立の認証等の事務交付金					77		
3 町債									
4 その他特財									
5 一般財源	32,973						32,100		

事業の目的（何をどのような状態にしたいのか）			
【★ 7 次総 6506】（行政運営）「近隣市町村との連携強化」			
総務課企画係の一般事務経費を支出する。			

